



地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所
水産研究部水産支援グループ 担当：辻村
TEL：072-495-5252 FAX:072-495-5600

プレスリリース

平成 27 年 6 月 15 日 14:00

関西空港記者会 会員各位
水産経済新聞 みなと新聞 各位

20 年ぶりにアカガイを放流！
～高級食材の生産量の増大を目指して～

大阪府では大阪湾の魚介類資源を増やすため、魚介類の稚魚を生産し、放流する「栽培漁業」を推進しています。このたび、アカガイの種苗放流を下記により行います。

アカガイの漁獲量は平成に入って非常に少なくなったため、平成 4 年から 6 年間、栽培漁業センター※で生産された数万個の種苗を放流しましたが、放流効果の高い大型種苗を調達することが難しく、平成 12 年から放流を休止していました。最近になって、大型の放流種苗を入手出来る見通しになったことと、漁業者からの要望が引き続き強いことから、今年度より大阪府が放流を再開することを決定しました。

アカガイの種苗は栽培漁業センターが放流までの準備を行います。

当研究所では貝殻にペンキで色をつけて放流し、今後、数年かけて放流後の生き残りや成長などを調べるとともに、放流に最適な場所を探します。

アカガイは寿司ネタで有名ですが、国産のものは非常に高価です。大阪湾でも年間 10 トン近くの水揚げがあります。また、アカガイは海中の懸濁物を食べるため、海の環境改善も期待されます。放流したアカガイが順調に成長すれば、1 年以内には府民の皆さんの食卓に届くことになりそうです。

※ 公益財団法人大阪府漁業振興基金栽培事業場・栽培漁業センター

記

放流種：アカガイ

放流個体数：5 万個

放流サイズ：殻長 30mm（体重約 8g）

放流予定日：6 月 16 日（火）

※荒天により変更することがあります。

放流場所：大阪市～堺市、岸和田市、泉南市沖

※調査船「おおさか」の船上より放流します。

放流後の成長：1 年で殻長約 80mm（体重約 100g）

（次ページに写真資料）



標識を付けたアカガイ種苗



アカガイの刺身